

教育の今日的課題

- ・豊かな人間性や社会性の育成
- ・自ら学び、自ら考える力の育成
- ・社会の変化に主体的に対応する力の育成
- ・特色ある学校づくり

道徳教育の指導の重点

- ◆自立した一人の人間として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ◆教育活動全体を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

外国語活動・外国語の指導の重点

- ◆全学年で外国語活動・外国語を行い、コミュニケーション能力を育成する。

各教科の指導の重点

- ◆個に応じた指導の充実を図る。(補充・発展)
- ◆習熟度別学習(算数)の充実を図り、基礎・基本の指導の徹底を図る。
- ◆児童が主体的に活動する授業を展開するために、学習への興味・関心を高める導入や教材の提示を充実させる。
- ◆自分の考えを友達に伝え合うペア学習で対話的な学習を充実させる。
- ◆ICT 機器・一人1台のタブレットを活用した指導を工夫する。

学校教育目標

- 勉強大好き 馬三の子
- 友達大好き 馬三の子
- 運動大好き 馬三の子

学校経営の基本方針

- ◎子供たちのためにできることを(当たり前のことを当たり前)
- ◎チーム馬三(一人一人の持ち味を生かした組織力)

授業改善スローガン

児童一人一人に
学ぶ楽しさを実感させ
確かな学力を付けよう

本校における「確かな学力」

- ◆基礎的・基本的な力
知識・技能
- ◆問題解決する力・活用する力
思考力・判断力・表現力
- ◆主体的に学ぶ力・共に学ぶ力
粘り強さ・自己調整力

学力向上に向けての取組

- ◆児童の実態や学力調査の分析から、児童に身に付けさせたい力・指導の重点の明確化を図る。
- ◆「チーム馬三」の意識を共有し、児童にとって失敗が受け入れられ、チャレンジする意欲がわく授業を教師が実践できるようにする。
- ◆教科の特質を生かし、主体的・対話的で深い学びの授業を実践する。

課題解決に向けての取組

- ・日々の授業の工夫と充実により基礎学力の定着を図る。
- ・学習支援員と連携し、児童に確かな学力を育成する。
- ・自主性・粘り強さ・社会的規範の育成を図る。
- ・「特別の教科 道徳」を要として道徳教育を充実させる。
- ・生命尊重・積極的な体力づくりを重視する。
- ・外部講師と連携し食育・健康教育を推進する。

総合的な学習の時間の指導の重点

- ◆探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能の定着を図る。
- ◆課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを味わわせる。
- ◆実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てる習慣を定着させる。
- ◆探究的な学習に、児童が主体的に取り組むことを目指した授業を設計する。

特別活動の指導の重点

- ◆縦割り活動では、集団への帰属意識や連帯感、高学年としての責任感を培う。
- ◆学級会を中心とした話し合い活動を充実させる。
- ◆児童自らがクラブの設立を行うことで、自主的・実践的な態度を育て、より一層の個性の伸長を図る。

生活指導の重点

- ◆小中一貫教育を見通し「あいさつ」「正しい言葉づかい」「物を大切にすること」の指導の充実を図る。
- ◆週1回の生活指導夕会やいじめ事案記録シートの活用を通していじめ・不登校などの未然防止と早期発見・早期解決を図る。

本校の授業改善に向けた視点

内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	学校評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ◆児童一人一人が学ぶ楽しさを実感し、主体的に学べるように、教師は教材の工夫、環境整備、体験的な活動を多く取り入れる ◆教科の特質を生かした学習活動を展開する。 ◆算数では習熟度別担当教員を中心に学年の打ち合わせを密にして指導計画を立てる。個に応じた指導の充実を図り、基礎・基本の定着を図る。 ◆土曜教室と毎週行う水曜教室で、基礎学力の定着を図る。 ◆東京ベーシック・ドリルを活用し基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝の学習(馬三タイム:8時25分~8時35分)を活用し、漢字や計算練習、書くって楽しいね、読書活動等を行う。 ◆学期ごとの予定時数を設定し、各教科・領域の指導が適切に行われるようにする。 ◆算数科では習熟度別指導を取り入れ、効果的な指導を行う。前学年でステップ学習を行い、基礎・基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「児童が主体的に学ぶ活動の工夫~思いや考えを話したり聞いたりする力を身に付ける~」を研究テーマに校内研究を実施する。 ◆年3回の管理職による授業観察を実施する。授業後には、指導、助言を受け、授業改善及びに授業力の向上を図る。 ◆若手研修会(OJT)を充実させ、教員全体の授業力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校公開等で保護者アンケートを実施し、地域や保護者の願いや思いを受けて教育活動を充実させる。 ◆教科の観点別評価内容について、保護者会等を通じて保護者に説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本的な生活習慣の形成に向けて工夫する。(歯磨きカードや健康チャレンジ週間) ◆保護者会等を通して、家庭での学習習慣の定着にかかわる協力を依頼する。(家庭学習の時間は、10分×学年数を目安とする) ◆地域の方々等をゲストティーチャーとして招き、体験的な学習を行う。 ◆体育・健康教育授業地区公開講座や道徳授業地区公開講座を実施する。 ◆夏季休業中に地域、保護者との協力をもとに「馬三夏休みわくわくスクール」を開催する。